

一般質問

TPP市の対策は



太陽クラブ 鈴木重史

問 TPPを見据えた今後の農業政策の展開は。

答 当市農業の持つ能力を最大限に発揮させるため、足腰の強い地域農業の確立に向けた経営体の育成や新たな担い手の確保、特産品の生産振興、地産地消の推進などが重要と考えています。

新規就農者の確保については、担当窓口に相談があった場合、支援策を詳しく説明し、新規就農につながるよう努めます。

農家が将来に向け意欲的に取り組めるよう、現在、農村振興基本計画を策定中であり、農業の将来像を明確に示していきます。

また、儲かる農業を推進するため、フードシステムの構築を図り、野菜の作付け拡大や取引先の拡充、品質の向上、他品

目への拡大など流通量の増加を目指していきます。

問 農業者やJA、各農業関連団体との検討を重ね、TPP関連対策本部を設置すべきでは。

答 当市では、農村振興基本計画を策定するため、認定農業者や市内4JAの幹部、県などの関係機

関、大学教授等に参画いただき、農村振興基本計画検討委員会を設置しています。

本委員会において、今回のTPPの大筋合意も踏まえた、当市農業の総合的な将来のあり方について検討していただきます。

対策本部の設置については、農村振興基本計画検討委員会での検討が可能かどうか、検討の範囲をどうするかなどについて見極める必要があります。

今後、国・県の動きを見ながら慎重に検討をしていきます。

近江牛を OMIGYU へ

効に向けた対策としては、総合的なTPP関連政策大綱を基に、経営安定と農産物の安定供給のための備えが重要であり、今後出される国の対策を最大限に活用し対応していきます。



市民が集える市役所に



太陽クラブ 戸嶋幸司

て運営いただいております。

問 市民が集える市役所づくりとして、売店以外の取り組み計画は。

答 本館1階のロビーでは市民ギャラリーのコーナーを設け、作品鑑賞やコーヒーを飲みながら談話をしていただけるホールとしました。

また、新館1階のロビーでは、NPO法人まちづくりネット東近江による、市民活動団体の紹介や補助金・助成金情報の発信をしています。

また、新館1階のロビーでは、NPO法人まちづくりネット東近江による、市民活動団体の紹介や補助金・助成金情報の発信をしています。

問 当市発祥のキャラクター



おしゃれな売店「Mitte」

ター「飛び出し坊や」の価値について、どう考えているのか。

また、飛び出し坊やを活用しての広報戦略の考えは。

答 テレビ番組などで取り上げられ、発祥が当市であることが紹介されています。

また、この飛び出し坊やがデザインされたバッジや文具用品なども作成され、徐々に人気が出てきているようで、キャラクターとしての価値は可能性を秘めていると考えます。

しかし、全県・全国レベルから見ると当市と飛び出し坊やとの繋がりがなく、まだまだ認知度が確立されたものとは言い難いのではないかと考えます。

当市としての広報戦略は大変重要なものと考えており、飛び出し坊やをはじめ、市内で活躍している他のキャラクターとの連携も図りながら、市の情報発信に努めたいと考えています。

また、この飛び出し坊やがデザインされたバッジや文具用品なども作成され、徐々に人気が出てきているようで、キャラクターとしての価値は可能性を秘めていると考えます。